

家園

字体作者：周 慧琚

第11号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル1階
TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>



7月9日 田村厚生労働大臣面会

写真：厚生労働省提供

目 次

★ 厚生労働大臣面会.....	2
★ 2014 年第六回定期総会	3
★ 四川中日友好太山村小学校訪問記	4
★ 福永お母さん ありがとう.....	5
★ 友情／二・三世交流会.....	6
★ 日本語閲読.....	7
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記.....	8

心に残った厚生労働大臣との面談

宇都宮 孝良

2014 年 7 月 9 日、来自全国各地原告団の代表と配偶者代表、一起参加了与田村憲久厚生労働大臣的（自去年以来第二次）面谈活动。

这次面谈给我留下深刻的印象是，田村大臣非常和蔼，平易近人。

在 2007 年支援政策立法之前，田村大臣是当时 PT 小组成员，并亲自参与了制定新支援政策的活动。他对中国残留帮人在战时、战后受到的痛苦和遭遇表示一定地同情和理解。

面谈在热烈气氛中进行。首先，由全国联络会代表 池田澄江致词。她感谢田村大臣在为解决配偶者的生活支援立法问题上明确果断。同时，向大臣递交了“要望书”。

会上来自千叶县的配偶者代表，朱式嶺向大臣宣读了热情洋溢的感谢信。此后，田村厚生劳大臣表示：我对大家的处境非常了解，无论在战时、战后，回到日本，大家都有千辛万苦经历，我感到非常心痛。他还说：去年在野田毅、漆原良夫、中谷元等国会议员先生们的支持下，配偶者的生活支援问题终于也得到了解决，并决定将在今年 10 月 1 日正式实施。

最后，田村大臣说：如果来年继续担当厚生劳大臣的话，我将一如既往地支持和帮助大家。面谈在亲切的气氛中进行，在热烈的掌声中结束。

中国残留帮人的新支援政策自 2008 年实施以来，每年一度我们都争取和厚生劳大臣进行面谈。通过这个平台，对巩固和完善新支援政策起到了积极创造性作用。

这次，我们向厚生劳大臣提出新的“要望书”中，重点提出在新支援政策立法之前，有部分残留孤儿不到 60 岁就去世，配偶者没有取得新支援政策的支援，这次提案要求希望早日解决这些配偶者的生活支援问题。

今后，我们原告团联络会将继续紧密配合律师团，为解决广大归国者实际困难作出最大的努力。

2014 年 7 月 9 日、全国各地から来た原告団代表らは、田村憲久厚生労働大臣と昨年に続き第二回目の面談を行われました。今回の面談では、田村大臣の温厚で気さくなお人柄が強く印象に残りました。

2007 年新支援政策立法する当時、田村大臣は PT チームの一員としてご尽力頂きました。また、中国残留邦人の戦時、戦後受けた遭遇に深いご理解と同情を示されました。

面談は温かい雰囲気の中で行われました。先ず、全国連絡会代表の池田澄江さんからご挨拶をしました。配偶者生活支援問題解決するための政策が立法化されたことに心から御礼を申し上げました。その後、田村大臣に「要望書」を手渡しました。千葉県からは、朱式嶺さんが配偶者代表として大臣に感謝の言葉を述べました。最後に田村大臣から：残留邦人の皆さんは戦時中、戦後、そして日本に帰国した後も大変ご苦労されたことを知り、非常に心が痛むこと、昨年、野田毅、漆原良夫、中谷元等国會議員の先生方のご支持のもと配偶者生活支援問題が解決されたこと、配偶者支援法は、今年 10 月 1 日に施行される予定で、今全国の自治体で準備が進められていることなどを話されました。

最後に、田村大臣は、もし私が来年も厚生劳大臣になれば、引き続き皆さんを支持し応援することを約束されました。面談は穏やかな雰囲気の中で行われ、熱烈な拍手の中で終了しました。

中国残留邦人新支援政策が 2008 年に実施されて以来、原告団は、毎年、厚生劳大臣との面談を継続し、大臣面談の機会を生かして、新支援政策が完全でしっかりした法律になるよう道を開いてきました。

今回、厚生劳大臣に新たな「要望書」を提出しました。その中で、最重要課題として、「新支援政策が立法される前に 60 歳未満で亡くなった残留邦人の配偶者が支援策の恩恵を受けられていない」ことを提出しました。そして、一日も早く解決されるよう強く願っていると言いました。

今後、原告団と連絡会の皆さんとより一層団結し、弁護団先生と綿密に協力し、帰国者の皆さんの問題解決のために努力しましょう。（翻訳：春暁）



2014 年第六回定期総会の開会成功

河村 忠志

本会 2014 年第六次定期总会于 6 月 22 日在台东区小島社会教育会馆圆满召开。45 名正会员出席大会，另有 40 名正会员提交了书面表决和委任状。

根据本会理事会提名，中村广为本次总会议长，主持大会。会上，池田理事长首先向大会致词。宫崎副理事长做了两个议案的报告，并提交大会审议。两个议案分别是：第 1 号议案：2013 年度事业报告・活动决算和 2014 年度事业计划・活动预算。第 2 号议案：新任理事追加的承认件。本次总会总结了 2013 年度本会各项事业的开展情况和取得的可喜成果；对 2014 年度的事业实施方针和事业计划做了认真细致的安排，从而将保证本会 2014 年度按计划顺利向前发展。本次总会追加了三名理事，为理事会增添了新的力量。

两个议案的报告后，本会监事高橋カツ做了 2013 年度会计监查报告。然后本会的正会员对提交大会的两个议案进行表决，获得一致通过。

随后，米仓律师讲话。她对去年由于大家的共同努力，取得了归国者配偶者支援政策立法，给予了充分肯定，并期待大家继续努力，认真做好 7 月 9 日厚劳大臣接见的准备工作。本会顾问菅波先生和日中友好协会副理事长大田宣也先生分别讲了话。

最后，副理事长宇都宮做了大会的闭幕词。

本次总会还收到了 NPO 法人中国归国者・広島友好会の贺信，对本次总会的召开，表示热烈地祝贺。

本会 2014 年第六回定期総会が 6 月 22 日台東区小島社会教育会館で開かれた。正会員 45 名が出席、40 名の正会員が署名議決書と委任状を提出、総会は無事に成立した。

本会理事会の指名により、中村広さんが総会議長となり会を進行した。池田理事長が大会に向け挨拶をした。宮崎副理事长が二つの議案の報告と審議を提出した。二つの議案は、それぞれ、第一号議案 2013 年度事業報告・活動決算及び 2014 年度事業計画・活動予算。第二号議案 新任理事追加の承認。本総会では、2013 年の各事業の状況及び成果を総括した。2014 年度の実施方針と事業計画は詳細に作られ、2014 年度も会の順調な発展が見込まれた。本総会では理事を三名追加、新しい力が加わることになった。

二つの議案が報告されたのち、監事の高橋カツさんが 2013 年度の会計監査報告を行った。続いて、二つの議案に対し正会員が議決を行い満場一致で承認された。

次に米倉弁護士からお話をいただいた。先生は、昨年の方々の努力の結果、帰国者の配偶者に対する支援法が成立したことを評価された上で、この後も頑張って 7 月 9 日の労働大臣面談に向け、十分な準備をしようと言われた。

本会顧問の菅波先生や日中友好協会副理事長の大田宣也さんもそれぞれ話をされた。

最後に副理事長の宇都宮さんが閉会のあいさつをした。

本総会では、NPO 法人中国帰国者・広島友好の会さまより本会開会に対し温かい祝賀の言葉をいただいた。(翻訳:真鍋たか子)



真誠心愿譽盛情

四川中日友好太山村小学校訪問記

惟 远

在由中国归国者・日中友好之会理事长池田澄江为团长的带领下，五月三十日上午九点访问团长途乘机 43 名成员，虽然年迈体弱仍以极大的热情，克服疲劳，从下榻的成都川港国际ホテル出发，乘车约四个多小时，于下午两点四十分左右抵达美丽的太山村小学。为了迎接我们访问团一行，师生们冒着 32 度左右的高温等待了大约两个多小时。学校附近的居民楼上，学校门前长达百米的马路上挤满了人群。学生们穿着新衣服喜笑颜开，村民们也满面笑容，等待着访问团的到来，到处洋溢着节日的气氛。

在锣鼓声乐曲声中，中国归国者捐款仪式开始了。池田澄江团长代表（以中国归国者为主体的）在日各界友好人士再次向太山村小学捐款两百万日元，会上由副理事长宇都宫孝良，宫崎慶文两位分别向老师、学生们赠送学习用品及玩具等。藤本淑子、前田明美等也以个人名义赠送礼品。

小学生们表演了精彩的民族舞蹈节目，尽管天气很热，小演员们个个劲头十足，一丝不苟，赢得阵阵掌声。

我们表演了大合唱“说句心里话”，池田澄江和宫崎慶文的朗诵铿锵有力，情感真切。舞剧“中国妈妈”，妈妈的角色临时改由张兢来代替，尽管出发前在中村树人老师指导下，仅仅练了几次，她克服了各种困难，感情投入，动作认真，扮演少女的历杰在整场演出中，把日本遗儿的悲惨遭遇表演的生动震撼，舞姿优美，村民们无不为之拍掌，在场的始建镇领导激动地说，“表演得太好了，剧情太感动人了！”。

在回来的路上，张兢感慨万千，她激动地说，“演出条件比以往都差，而我们认真的演出和看到村民们的热情反应，这些内心深处的感动胜过以往”。慰问及联欢演出近一个多小时左右，在县、镇领导，学校老师们的感谢声中，在村民们的欢呼声中圆满结束了。

这次我们为援建的四川中日友好小学校访问捐款，短期而顺利实现多年的心愿。尽管当前日中两国关系处在低谷阶段，尽管我们是生活在日本社会的普通一员，但是，我们愿以自己的力量以草根精神做出努力并真诚希望日中两国尽快恢复正常友好关系，顺应历史发展潮流，两国关系有新的发展。

中国帰国者・日中友好の会池田澄江理事長を団長とした訪問団 43 名は、5 月 30 日午前 9 時、高齢で体力が弱いとは言え、気力で長旅の疲れを克服し、成都のホテルを出発、4 時間かけて、午後 2 時 40 分頃、美しい太山村小学校に着いた。我々一行を出迎えるために、気温 32 度の暑い中、先生と生徒が二時間あまりも待っていてくれた。学校近くの住民は、家の二階に上がり、学校の前は数百メートルにわたって人が押し寄せていた。生徒たちは、新しい服を着て、村民たちと同様、満面の笑顔で出迎えてくれた。まるでお祭りのようにぎやかさだった。

太鼓や音楽が鳴る中、帰国者による寄付贈呈式が行われた。池田理事長は日本の各界の友人を代表して、太山村小学校に 200 万円の寄付金を贈呈した。副理事長の宇都宮さん、宮崎さんからは、生徒たちに学用品やおもちゃなどが送られた。藤本淑子さん、前田明美さんからも個人名義でプレゼントが贈られた。

贈呈式では、小学生によるすばらしい民族舞踊が披露された。暑さにも負けず、力いっぱい一生懸命に演じ、観客は大きな拍手を送った。

帰国者は、大合唱「話したいことがある（说句心里话）」を歌った。池田理事長と宮崎さんの朗読は、力強くリズムカルで、迫力があつた。舞踏「中国のお母さん」は、張兢さんが代役を務めた。張さんは、出発前、中村樹人先生の指導を受け、短い時間でマスターした。孤児を演じた歴傑さんは、舞台上で豊かな感情表現と的確な動作で孤児の悲惨な境遇を生き生きと美しく演じた。村人は、いたく感動し拍手を送らないものはなく、始建鎮の幹部は「素晴らしい！」と大変感動したようだった。

帰り道、張さんは、感慨深そうに「今回の舞台は、今までの中で、条件では一番恵まれなかったが、これほど観客と深い心の交流ができたことはなかった」と言った。

交流会は一時間ほど続き、県や、鎮の幹部、先生方の感謝や村人の歓声の中、成功のうちに終えた。

この度の四川中日友好小学校への寄付贈呈は、

短い時間とは言え、長年の念願を果たすことができた。今、日中両国の関係は低調だが、日本社会の一員として草の根の精神を発揮し、日中両国が一日でも早く正常な関係にもどし、新しい関係を築けるよう努力したい。（翻訳：真鍋たか子）



谢谢您，福永老妈妈

白山 明徳

七月十三日，这天一改酷暑，清凉的风徐徐吹过，七十多位归国者和配偶穿着舒坦精神，陆续地来到新宿初台。已经有二十年以上了，尊敬的福永美穗子老妈妈，一位普通的日本老人，每到这个时候都要和她的「冻土」组织的朋友一起发出邀请信函，让归国者们如“同窗”聚会在“東京オペラシティ”54楼“东天红”餐厅里。聚餐前，大家兴致极好，侃侃细语，一期一会自然有许多感触：这些年了，福永老妈妈她以自己仅有力量，以设宴方式招待大家，老人说：一年了就是想见见你们！

岁月如水，归国者们那旧日童年的苦痛早已淡薄，但思感难能抹去：我们亲生父母可曾健在安好？尚能记起我们？乡间故里又在哪一方？

庆幸的有永福老妈妈关爱，前前后后专心组织安排让归国者们如期聚餐。因有这一天，让我们纪念过去的历史，珍惜今后的生活；因有这一天，我们领悟人生的青涩与成熟。

已是高龄的福永老妈妈会上表示：今年聚会是最后的啦，老人亲切地望着每一位归国者，她举起手轻轻挥动：“みなさん、がんばってください！”

二十多年过去，好像每回聚餐参加者更换不少面孔。但，渐渐苍老的福永老妈妈总是微笑地站在一旁迎接大家到来。

今天宴会尾声，大家纷纷讲话，表答感谢之心，面对一双双动情纯朴眼睛，福永老妈妈竟又耐不住说出：争取来年再见！

在此，我们真诚感谢福永老妈妈！多年来的交往、同情、爱护。我们敬献一束美丽的鲜花祝愿福永妈妈健康，快乐，长寿。

7月13日は、うって変わって涼しい日になり、70歳を過ぎた帰国者たちも爽やかに新宿初台駅に降り立ちました。福永美穂子さん——尊敬する日本のお母さんは、普通の老人ですが、毎年この時期に、「凍土」で結成された仲間と一緒に、帰国者のための食事会を開いてくれます。それは、20年も続き、同窓会のような感じです。お母さんはすごい人で、東京オペラシティ 54階にあるレストラン東天紅で宴会を開いてくれるのです。お母さんは言います「一年経ったら、また会いたくなっただわ。」

時は流れ去り、帰国者たちが幼少のころに受けた苦しみは薄らぎました。でも、心の闇は消えずにいます・・・自分を生んだ両親は元気だろうか。自分のことを覚えているだろうか。故郷はどこだろうか。

毎年帰国者のために食事会を開いてくれる福永お母さんの愛情—この一日があったから、帰国者たちは過去を振り返り、生きている幸せをかみしめ、長い人生の苦渋と幸福を悟ることができました。

福永お母さんもずいぶん歳をとりました。食事会の席上、お母さんは「今年で食事会は最後にする」と言い、一人一人、帰国者を慈しむように見つめました。そして、軽く手を振り「みなさん、がんばってください」と言いました。

二十余年が経ち、参加者たちの顔ぶれも変わりました。でも、福永お母さんは、かくしゃくとして、いつも笑顔でみんなを出迎えてくれました。

食事会の終盤、みんなそれぞれ感謝の気持ちを述べました。みんなの澄んだ目を見て、福永お母さんは思わず、「来年もまた会いましょう」と言いました。福永お母さん、本当にありがとう！長年の交流、貴女のやさしさ、愛情に感謝します。最後に願いを込めて花束を送りました。どうかいつまでも健やかに、楽しく過ごされますように！（翻訳：真鍋たか子）



友情如亲情——肉親の愛に劣らぬ篤い友情 池田 澄江

「家」指骨肉相连、坚守情缘，「孤儿之家」虽然没有骨血关系，会员们却是同命相连，高兴时同声欢笑，遇难时八方支援，不管是大事小事都当做自己的事，在这个家时间越长感触越深，近期几位住院治疗中，在炎热酷暑的太阳下，同胞拄着拐，戴着胸架，拖着病体汗流满面，到医院去慰问。关心和鼓励的电话，真实的感情让人泪流心田。在集体中，我们虽然多少做了一点工作，但比起大家的情意，总觉得做的太少，远远不如大家的关心和爱戴，我们真正感受到了；友情如亲情。今后决心，把自己的更多精力贡献给 NPO 事业。在此，我们致以深深谢意，愿「孤儿之家」越办越好。

「家」とは肉親を指し、もとより情感が湧く場所ですが、「孤児の家」もまたしかり。血縁関係こそありませんが、同じような境遇で育った者どうし、苦楽を共にし、何かあると自分のことのように考えます。それは、孤児の家で過ごす時間が長くなるにつれ絆が強くなるからです。このところ、何人かの人が入院しました。猛暑の中、ある人は、杖をつき足を引きずりながら、病気の体をおして、お見舞いに行きました。ある人は、励ましの電話をかけました。本当に感動の涙があふれます。NPO では仕事をしていますが、皆さんの温かい気持ちに比べれば微々たるもので、皆さんの愛情には遠く及びません。肉親の愛に劣らぬ友情は存在するのです。これからも全力で NPO の事業に取り組みます。感謝の気持ちを胸に、孤児の家の友情がもっともっと深く永遠に続きますように。

二・三世交流会



6月15日 NPO 教室にて、二・三世交流会が開かれました。

池田理事長は挨拶の中で、NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」の役割や、今後の二・三世に対する要望などを話されました。

米倉弁護士からは裁判の過程であったエピソードや、配偶者の問題、二世や三世の問題などを話されました。

皆さんと一緒に貴重な話を聞き、大変嬉しく思ったと同時に、有意義な時間を過ごせたことに感謝します。（松本莉恵）



日本語閲読（转载東京新聞）

「長女の鰻 次女の総菜」「大女儿的鳗鱼，二女儿的菜肴」 山田武志

猛暑が続いていたある日、電車で一時間のところに住んでいる長女から「お父さん、明日、鰻を持って行くから」と電話があった。

一昨年、妻を亡くして一人暮らしをしている私のために、月に一度、わが家に来て食事を作ってくれる。次女は三駅離れたところにて、毎週、総菜を買って持ってくる。

私は婦人以外のすべての診察券を持ち、毎週いずれかの診療科に通院しているが、特に腰痛のつらさが身にこたえる。起床してから夜、床に就くまで、種田山頭火風にいえば「何をするのも一人」である。

妻が健在だった頃、娘二人が次々と結婚して家を出た時、「子供たちは私たちのことをどう考えているのか。嫁に行ったら他人と思わなくて」などと話し合っていた。

今は結構、子供たちも親のことを考えてくれていると思う。鰻はおいしかった。力がついた気分になった。

在炎热酷暑的天气持续了好久，有一天，住在离我一个多小时的大女儿打来电话说“爸爸、明天我带去鳗鱼给您”。

前年，老伴儿去世了，撇下我一个人，每个月来我家一次给我做点儿饭。二女儿住在离我三站地儿，每周给我那点儿菜来。

除了妇产科的医疗卡我没有，其他的医疗卡都有，每周到医院看病，特别是腰痛病缠着我很痛苦。从起床到就寝，正像明治时代的俳句诗人种田山头所说“从早到晚耍单甬儿”。

妻子生前常和我聊天说“两个女儿都先后出嫁了，孩子们会不会孝敬我们呢，出嫁了就是别人家的人了”。

可现在看来，孩子们都非常挂念、孝敬我。鳗鱼很好吃。我也好像充满了活力。（中文译 春晓）

「一通の手紙から」「从一封信开始结缘…」

高根沢 勇

私と妻の最初の出会いは、会社内の購買センター。妻は当時、仕立て洋服店に勤めており、店員と客の間柄でした。何事もなく三年が経過。恋愛感情もなく、そのうち「店員さんは辞めたらいい」とのうわさが流れました。

それから二年たったある日、彼女から一通の手紙が届きました。「懐かしいです。会いたい」と。二十歳になっても全く女の人に縁のなかった私、嬉しくてすぐ返事を書きました。

それからは文通を重ね、ついに意を決して会いに行きました。彼女は栃木の山奥の有名温泉町に住んでいました。半年間、片道四時間をかけて毎週のように行きました。

その後、お互いの両親を交えての食事会が結婚式でした。以来四十七年。大病もなく、子供も三人もでき、幸せです。一通の手紙から始まった二人の仲も後三年で金婚式。その日が来るまでつつがなく暮らしていきたいと思っています。

我和妻子最初的相识是在公司里的超级市场。妻子当时是服装店的店员，也就是店员和顾客关系。不知不觉三年过去了，也没有恋爱关系，就在那时，传说店员辞职了。

又过了两年，突然有一天收到了她的一封信。真有一种令人怀念的感觉。对于二十岁的我来说还没有恋爱的缘分。高兴得立即写了回信。

从那儿以后通过情书谈起恋爱，不久，我就下决心去见她。她家住在栃木县深山里有名的温泉地。在半年之间，每星期要走往返8小时路途去她家。

之后，双方的父母见面相了亲，在一起吃顿饭也就算是结婚仪式了。到现在四十七年了。没有得大病，生了三个孩子，感到很幸福。通过一封信把两个人牵在一起，一晃，再过三年就是金婚式了。但愿到那天为止平平安安地度过时光。（中文译 春晓）

「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2014 年 6 月～8 月)

5/29-6/3	访问中国四川中日友好小学参加捐赠仪式及交流会	中国四川省中日友好小学校を訪問、寄付金贈呈式と交流会に参加しました
06/15	在本会活动室举办归国者二世三世交流会	本会活動室にて、帰国者二世三世の交流会を行いました
06/22	在台东区小岛教育会馆 NPO 第六次定期总会圆满召开	台東区小島教育会館にて NPO 第六回定期総会を開催
07/09	为完善新支援政策在律师团的引领下与厚生劳动大臣举行面谈，递交「要望書」	新支援策を改善するため、弁護士とともに厚労大臣面談を行い、要望書を提出
07/13	在东天红参加福永老妈妈聚餐会	東天紅にて福永さん主催の食事会に参加

募集

长期以来 NPO 饺子工房的主要骨干成员一直任劳任怨以极大热情和认真负责态度参加饺子工房的制作活动。无论严冬还是夏暑在他们带动下有很多 NPO 会员也协助包饺子。

现在为了更好开展活动，我们期待有新的人员参加饺子工房的工作。条件是身体健康有工作热情和奉献精神。特别欢迎年轻一代（二、三代）。具体细则，请与本会事务室联系。

餃子工房は、苦労続きでしたが、熱心に餃子の製造に取り組んでできました。寒い日も暑い日もリーダーシップのもと NPO の会員も餃子製造に協力してきました。

今後、更に活動を発展させるために新しいメンバーに加わっていただきたいと思います。健康で、仕事熱心、ボランティア精神があれば、どなたでもご応募できます。特に若い世代（二世、三世）は歓迎です。詳しいことは、本会事務室までお問い合わせください。

※お知らせ※

★第一回地域合唱団交流会★

日時：9 月 7 日（日）
場所：板橋区アクトホール

★水餃子官庁販売★

日時：10 月 1 日（水）2 日（木）
場所：厚生労働省食堂

★かっぱ橋道具まつり★

水餃子フェア
日時：10 月 12 日（日）13 日（月）
場所：浅草かっぱ橋道具街

★帰国者まつり★

日時：11 月 22 日（土）
場所：江東区総合区民センター（西大島）



《家園》編集委員（第 11 号）

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	眞 鍋 た か 子
春 曉	惟 遠
レイアウト 王 莉	

編 集 後 記

朋友说：一日，乘地下铁，无意看到对面坐着有位老妇人，她随身的挂包上印有：“さけ微醉，はな半開”，这自然是主人心境的表露。心里却也反反复复地欣赏那语意的素朴、简洁、矜持。